



自然と人をつなぐ仕事がしたい人へ

「自然体験活動指導者・インタープリター養成コース」開講!

平成24年度
開講で〜す!
この指とまれ〜



森林文化アカデミーは、学校敷地内の恵まれた自然環境(33ヘクタールの森が学内にあります)と充実した施設を活用して学内に森のようちえんやプレーパークがあったり、自然教室や観察会を頻繁に開催しているとってもユニークな学校です。新しいスタイルの高等教育機関のモデルとしても注目されています。

そんなアカデミーに「自然と人をつなぐ仕事をしたい!」という方のためのコースができました。2年間の徹底的な実践型のカリキュラムで、現場で必要なスキルを習得できます。「自然体験活動指導実習」「インタープリテーション実習」「森のようちえん実習」「パーマカルチャー実習」「フィールドワーク」など、魅力的な科目がいっぱい。

自然学校スタッフ、インタープリター、森のようちえん指導者、エコツアーガイド、プレーリーダーになりたい方、一緒に学びませんか? 大学生、社会人枠からの応募をお待ちしております。

興味のある方、ご自由にお問合せください。コース内容、見学についての質問は、090-9239-9187(萩原)、もしくはnavanava@pop02.odn.ne.jpまで。



林業女子会@岐阜、設立!

<http://www.musublog.jp/blog/ringyoujosikaigifu/>

「林業女子会@岐阜」は、女子の力で林業の魅力を伝え、女子と林業をつなげたいとの想いから発足しました。岐阜県立森林文化アカデミーの学生、河合美希さんを代表に、学生をはじめ、森林組合やNPO法人で働く女性十数名が、間伐等の林業体験イベントや現場取材などを通して、川上から川下までの林業の魅力を伝えています。



写真はイベント(森女(もによ)カフェ)の様子。伝統的な木のぼり道具「ぶり縄」で木のぼり体験、枝打ち職人さんの気分を味わいました。また「女子山仕事部」もあり、美濃市内の「板山」という山村集落内の支障木を伐倒・利用する活動も行っています。

山仕事が好き・木工が好き・木の家が好き・森と触れ合うのが好き・・・「林業女子会@岐阜」では木や森に関心を持つ女の子を大募集しています。みなさんよろしくお祈りします!



森と木のクリエイター科



林業再生



山村づくり



自然体験活動指導者
インタープリター養成



木造建築



ものづくり

森と木のエンジニア科



(森林・林業・木材利用)

岐阜県立森林文化アカデミーは、森林を多面的に活用し、新たな森林文化の創造に寄与できる人材を育成する2年制の専修学校です。

大卒または実務経験者が対象の森と木のクリエイター科では「林業再生」「山村づくり」「木造建築」「ものづくり」のいずれかの講座に所属して専門的に学び、高卒以上の人を対象とする森と木のエンジニア科では、全員が「森林・林業・木材利用」を学びます。

アカデミーの学びのクライマックス、「課題研究公表会」

卒業式を間近に控えた2月下旬、森林文化アカデミーでは「課題研究公表会」を行います。これは、自ら設定したテーマに沿って研究・実践してきた成果を、クリエイター科(大卒程度)なら20分、エンジニア科(高卒程度)なら12分にまとめ、発表するものです。スライドショーでのプレゼンに加え、木造建築なら模型やパネル、ものづくりなら作品などの成果物が並びます。発表が終わると、外部から招いたゲスト評価者や、全学の教員・学生との質疑応答が続きます。ポイントは、「自分の学びをどう社会に役立てていけるか」ということです。



見学に来ませんか？



2/21(火)~23(木) 9:00~16:00

ところでこの課題研究公表会、森林文化アカデミーでの学びに関心ある方は、見学が可能です。2年間の学びでどれだけ中身の濃い成果が得られるのか、ぜひ聞きにきて、感じ取ってください。詳細は、森林文化アカデミーのホームページ www.forest.ac.jp をご覧ください。

こんな発表を聞くことができますよ。木造建築とものづくりの2例をご紹介します。



プロの研究会で、学生が審査員賞を受賞

「自立循環型住宅アワード」で、課題研究を先行発表

自立循環型住宅？聞きなれない言葉かもしれません。これは、国土交通省などが進める完結型のエネルギーシステムを確立した住宅を目指すプロジェクト。つまり、省エネを見える形にしていくことです。これに共感し、全国の温熱や省エネに先進的に取り組む建築実務者を集めて勉強会や発表をする「自立循環型住宅研究会」があります。ここまで実践的な集まりは他に無いでしょう。

11月、北海道から鹿児島まで100社を超える設計事務所や工務店が集まり、実践例を発表しあう年に1度の「アワード」がありました。今回の発表者9名に加え、「既存住宅における温熱改修促進ツールの提案」として、アカデミーの2年生、中島創造さんが課題研究の一部を発表しました。

参加者による投票の結果、なんとプロの方に混じってゲスト審査員賞(南雄三さん)をいただきました。南さんは鋭い視点で斬り込む住宅評論家で、住宅の温熱環境の世界では知らない方はいません。写真は、南さんとの記念撮影。課題研究の公表会でも、この経験を活かして良い成果を期待しています。



木工のワークショップで被災地支援

岩手の木・アカマツの踏み台づくり

ものづくりの2年生・富張菜々子さんは、岩手県出身。東日本大震災で、故郷も大きな被害を受けました。そこで課題研究のテーマを木工のワークショップを通じた被災地支援と決め、この1年間取り組んできました。現地に何度も足を運んでニーズをつかみ、制作する物を決め、デザインを考え、試作を行い、人数分の材料を確保するために現地の製材所や木工所とネットワークをつくって準備を進め…いくつものプロセスを経て、11月に仮設住宅で「踏み台づくり」のワークショップを実施しました。結果は大好評で、「仮設に入ってからいちばん幸せだった」「ぜひ来年もやってほしい」との嬉しいお言葉もいただきました。故郷に就職も決まり、卒業後もアカデミーと連携しながら継続的に支援していきたいと考えています。

入試日程(平成24年4月入学)

森と木のクリエイター科

出願期間 平成24年3月6日(火)まで

試験日 平成24年3月11日(日)

※来年度の入試日程は、ホームページでご確認ください。

今春の入学
まだ間に合います！

お問い合わせはお気軽に

501-3714 岐阜県美濃市曾代88

岐阜県立森林文化アカデミー

tel 0575-35-2525 fax 0575-35-2529

email info@forest.ac.jp